

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

目 次

	(頁)
I 概 況	
【組織運営の実績】	1
【事業の実績】	6
【1】（重点目標1） 障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理	6
秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理	6
コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理	6
【2】（重点目標2） 障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進	6
【3】（重点目標3） 市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化	10
【4】（重点目標4） 研修開催による人材育成事業の推進	13
【5】（重点目標5） 3障害（身体・知的・精神）を統合した事業の推進	15
II 事業別の概要	
【1】 障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績	16
【2】 秋田ワークセンター相談支援事業の実績	30
【3】 コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績	32

令和6年度 事業報告書

I 概況

社会福祉法人として地域福祉の推進に寄与するため、障害者支援施設等の社会福祉事業や県からの委託事業を効果的に執行するとともに、評議員会や理事会などの会議を適時適切に開催した。

事業の実施では、県からの事業を受託実施するにあたり、県民の福祉ニーズに適切に対応するため、行政や関係団体等と綿密な連携を図り、最小の経費で最大の成果を上げるよう取り組んだ結果、各事業ともに所期の目的を達成することができた。

県からの受託事業として実施している「小中学生向け障害理解教室」は、障害のある方々が講師として35校（昨年度42校）の小中学校に出向き、車いす乗車体験や盲導犬とのふれあい体験、見えない世界を肌で感じる体験を行ったほか、1,929名の児童・生徒（前年度2,538名）に対して点字等の学習の機会を提供し、障害の特性や障害者への理解を一層深めることができた。

「サービス管理責任者等研修」は、各施設・事業所におけるサービスの質の確保と向上を図るため、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の知識及び技術の向上等を目的に全研修を集合研修で実施した。また、「更新研修」においては、令和5年度まで省略が可能であった2日目の「サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義及び演習」を標準カリキュラムに基づき実施した。

「第24回いきいき芸術・文化祭開催事業」は秋田市にぎわい交流館AU（あう）を主会場に、「令和6年度第42回秋田県身体障害者福祉大会」と「第24回いきいき芸術・文化祭開会式」は「あきた芸術劇場ミルハス」を式典会場に実施した。また、「秋田県障害者芸術福祉展」、障害福祉事業所等の手工芸品や加工食品などを販売する「いきいきマルシェ」（延べ46事業所が参加）を実施したほか、「点字体験」、「講演会」、「視覚障害者体験」や2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクトとして島根県の社会福祉法人いわみ福祉会の桑の木神楽会が伝統芸能「石見（いわみ）神楽大蛇（おろち）」の公演（参加者約100名）を実施した。さらに無料映画上映会や、初めて「あきた芸術劇場ミルハス」での開催となる「パフォーマンスステージ」などを実施した結果、大勢の皆様に来場いただくことができた。加えて、「秋田県障害者芸術福祉展」の展示作品については、インターネット公開（バーチャルツアー形式による5年目）を行い、福祉展終了後においても作品の鑑賞を可能とするなど、障害のある方々の芸術作品の素晴らしさを広く県民に周知することができた。

【組織運営の実績】

1 評議員会

（1）第1回

- ・期 日 令和6年6月27日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター会議室
- ・出席者 評議員9名、理事5名、監事2名
- ・欠席者 評議員7名
- ・議 事

報告事項

- 報告事項1 令和5年度事業報告について
- 報告事項2 令和5年度収支決算報告について

- 報告事項 3 社会福祉充実残額計算報告について
 - 報告事項 4 評議員の選任について
 - 報告事項 5 顧問選任の同意について
 - 報告事項 6 職員給与規程等の一部改正について
 - 報告事項 7 事務決裁規程等の一部改正について
- その他

- 1 令和6年能登半島地震被害の支援金について

(2) 第2回

- ・期 日 令和7年3月27日(木)
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 評議員8名、理事4名、監事1名
- ・欠席者 評議員7名
- ・議 事

議 案

- 議案第1号 令和6年度資金収支第1次補正予算書(案)について
- 議案第2号 令和7年度事業計画書(案)について
- 議案第3号 令和7年度資金収支予算書(案)について
- 議案第4号 理事の選任(案)について

報告事項

- 報告事項 1 職員就業規則等一部改正について
- 報告事項 2 職員給与規程一部改正について
- 報告事項 3 令和6年度社会福祉施設等指導監査及び令和6年度指定障害福祉サービス事業者等運営指導の結果について
- 報告事項 4 就労継続支援A型事業の廃止について

2 理事会

(1) 第1回

- ・期 日 令和6年6月14日(金)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター会議室
- ・出席者 理事8名、監事1名
- ・欠席者 理事1名、監事1名
- ・議 事

報告事項

- 報告事項 1 令和5年度事業報告について
- 報告事項 2 令和5年度収支決算報告について
- 報告事項 3 社会福祉充実残額計算報告について

議 案

- 議案第1号 評議員の選任(案)について

議案第2号 顧問選任の同意について

議案第3号 職員給与規程等の一部改正（案）について

議案第4号 事務決裁規程等の一部改正（案）について

議案第5号 令和6年度第1回評議員会の招集について

その他

1 令和6年能登半島地震被害の支援金について

(2) 第2回

- ・期 日 令和7年3月14日（金）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事7名、監事2名
- ・欠席者 理事1名
- ・議 事

議 案

議案第1号 職員就業規則等一部改正（案）について

議案第2号 職員給与規程一部改正（案）について

議案第3号 令和6年度資金収支第1次補正予算書（案）について

議案第4号 令和7年度事業計画書（案）について

議案第5号 令和7年度資金収支予算書（案）について

議案第6号 令和6年度第2回評議員会の招集について

議案第7号 事務局長の選任（案）について

報告事項

報告事項1 職務執行状況について

報告事項2 資金運用状況について

報告事項3 令和6年度社会福祉施設等指導監査及び令和6年度指定障害福祉サービス事業者等
運営指導の結果について

報告事項4 就労継続支援A型事業の廃止について

報告事項5 理事の選任（案）について

(3) 第3回

- ・期 日 令和7年3月27日（木）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 理事7名、監事1名
- ・欠席者 理事1名、監事1名
- ・議 事

議 案

議案第1号 常務理事の選任（案）について

3 正副会長会議

(1) 第1回

- ・期 日 令和6年5月30日(木)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター会議室
- ・出席者 会長、副会長1名、常務理事、所長
- ・欠席者 副会長1名
- ・議 事 (令和6年度第1回理事会及び第1回評議員会議事について)

協議事項「理事会報告事項及び議案について」

- 報告事項1 令和5年度事業報告について
- 報告事項2 令和5年度収支決算報告について
- 報告事項3 社会福祉充実残額計算報告について
- 議案第1号 評議員の選任(案)について
- 議案第2号 顧問選任の同意について
- 議案第3号 職員給与規程等の一部改正(案)について
- 議案第4号 事務決裁規程等の一部改正(案)について
- 議案第5号 令和6年度第1回評議員会の招集について

協議事項「評議員会報告事項について」

- 報告事項1 令和5年度事業報告について
- 報告事項2 令和5年度収支決算報告について
- 報告事項3 社会福祉充実残額計算報告について
- 報告事項4 評議員の選任について
- 報告事項5 顧問選任の同意について
- 報告事項6 職員給与規程等の一部改正について
- 報告事項7 事務決裁規程等の一部改正について

その他

- 1 令和6年能登半島地震被害の支援金について

(2) 第2回

- ・期 日 令和7年3月6日(木)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・出席者 会長、副会長1名、常務理事、所長
- ・議 事

協議事項「第2回理事会議案及び報告事項について」

- 議案第1号 職員就業規則等一部改正(案)について
- 議案第2号 職員給与規程一部改正(案)について
- 議案第3号 令和6年度資金収支第1次補正予算書(案)について
- 議案第4号 令和7年度事業計画書(案)について
- 議案第5号 令和7年度資金収支予算書(案)について
- 議案第6号 令和6年度第2回評議員会の招集について
- 議案第7号 事務局長の選任(案)について
- 報告事項1 職務執行状況について

- 報告事項 2 資金運用状況について
- 報告事項 3 令和6年度社会福祉施設等指導監査及び令和6年度指定障害福祉サービス事業者等運営指導の結果について
- 報告事項 4 就労継続支援A型事業の廃止について
- 報告事項 5 理事の選任（案）について
- 協議事項「第2回評議員会議案及び報告事項について」
- 議案第1号 令和6年度資金収支第1次補正予算書（案）について
- 議案第2号 令和7年度事業計画書（案）について
- 議案第3号 令和7年度資金収支予算書（案）について
- 議案第4号 理事の選任（案）について
- 報告事項 1 職員就業規則等一部改正について
- 報告事項 2 職員給与規程一部改正について
- 報告事項 3 令和6年度社会福祉施設等指導監査及び令和6年度指定障害福祉サービス事業者等運営指導の結果について
- 報告事項 4 就労継続支援A型事業の廃止について
- 協議事項「第3回理事会議案について」
- 議案第1号 常務理事の選任（案）について

4 評議員選任・解任委員会

(1) 第1回

- ・期 日 令和6年6月19日（水）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター会議室
- ・出席者 委員3名、会長、常務理事
- ・議 事
議案第1号 評議員の選任（案）について

5 監 査 令和5年度における理事の業務執行状況及び法人の財産状況等の監査

- ・期 日 令和6年5月17日（金）
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター会議室
- ・出席者 監事2名、常務理事、所長
- ・内 容
職員紹介
事業報告書概要説明（ 法人全体 ）
収支決算書概要説明（ 法人全体 ）
昨年度監査講評への対応
監査（ 施設所管分 ）
監査（ 法人事務局所管分 ）
講評
会長あいさつ

【事業の実績】

- 【1】（重点目標1）・障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理
（16頁記載）
・秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理
（30頁記載）
・コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理
（32頁記載）

【2】（重点目標2）・障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進

1 自立更生の環境づくり

(1) 障害者地域生活支援事業

障害者の自立更生の環境づくりのため、関係団体が自主的な事業に取り組むための助成金を交付するなど、その円滑な事業推進を図った。

①オストメイト社会適応訓練事業

日本オストミー協会秋田県支部が県内5地区において、装具、器具の使用法や選択法、ストマクリニックや社会生活上の基本的事項に関する相談、情報交換等を感染症に配慮の上実施した。

- ・実施地区 能代市、横手市、由利本荘市、大仙市、秋田市
- ・参加者数 93人

②音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出者福祉団体「秋笛会」は、食道発声訓練、各種相談、人工喉頭又は電気発声機による発声訓練等を行うため、訓練会や研修会を開催した。また、定期練習会を毎週水曜日に秋田県心身障害者総合福祉センターで実施し、延べ100名が参加した。

③筋ジス者機能訓練事業

秋田県筋ジスの会は、筋ジストロフィー者に対して、社会生活上必要な知識の習得や情報交換等を目的に、医療相談や生活・福祉相談を秋田市で開催し6名が参加した。

④車いす使用者のためのレクリエーション事業

秋田県車いす連合会は、秋田県勤労身体障害者スポーツセンター体育館で運動会を開催し、14名が参加した。また、ゲートボール大会は参加者が5名と少なかったことから、秋田県ゲートボール協会の交流大会に参加した。文化交流会については、秋田県心身障害者総合福祉センターで開催され、10名が参加した。

(2) 小中学生向け障害理解教室の実施

障害のある方などが講師として県内の小中学校に出向いて講話や障害疑似体験などを行うことにより、児童・生徒と障害者の交流を図るとともに、障害及び障害者への理解を深め、心のバリアフリーの推進につなげることを目的として「小中学生向け障害理解教室」を開催した。なお、令和6年度からは「こまちほ〜ぷ隊」（全国手をつなぐ育成会「啓発キャラバン隊」秋田支部）による「知的・発達障がいの疑似体験」のメニューを追加することによって、身体障害に限らず様々な障害を知る機会を提供した。

- ・令和6年度実施学校数 35校・延べ37回（令和5年度：42校・延べ43回）
- ・令和6年度参加生徒数 1,929人（令和5年度：2,538人）

・実施状況

実施日	学校名	講座名	参加生徒数
6月 3日	秋田市立戸島小学校	点字を学ぼう	9人
6月10日	大館市立西館小学校	点字を学ぼう	9人
6月11日	秋田市立寺内小学校	車いす体験教室	50人
6月13日	秋田市立大住小学校	盲導犬を知ろう	99人
6月13日	羽後町立三輪小学校	見えない世界を見てみよう	20人
6月14日	秋田市立河辺小学校	知的・発達障がいの疑似体験	23人
6月21日	湯沢市立稲川小学校	見えない世界を見てみよう	40人
6月21日	大仙市立清水小学校	見えない世界を見てみよう	13人
6月22日	秋田市立泉小学校	盲導犬を知ろう	77人
6月24日	潟上市立追分小学校	見えない世界を見てみよう	86人
6月27日	横手市立横手南小学校	見えない世界を見てみよう	87人
7月 1日	大仙市立東大曲小学校	盲導犬を知ろう	15人
7月 2日	横手市立醍醐小学校	車いす体験教室	18人
7月 3日	由利本荘市立尾崎小学校	見えない世界を見てみよう	17人
7月 3日	秋田市立勝平小学校	盲導犬を知ろう	90人
7月11日	秋田市立旭南小学校	盲導犬を知ろう	62人
7月16日	秋田市立港北小学校	見えない世界を見てみよう	102人
7月23日	由利本荘市立鶴舞小学校	点字を学ぼう	55人
8月26日	大仙市立藤木小学校	盲導犬を知ろう	9人
9月 3日	大仙市立横堀小学校	点字を学ぼう	14人
9月 9日	秋田市立四ツ小屋小学校	見えない世界を見てみよう	25人
9月 9日	由利本荘市立新山小学校	見えない世界を見てみよう	106人
9月12日	秋田市立外旭川小学校	見えない世界を見てみよう	87人
9月13日	秋田市立日新小学校	盲導犬を知ろう	124人
9月13日	秋田市立四ツ小屋小学校	車いす体験教室	25人
9月18日	大館市立城南小学校	車いす体験教室	50人
9月18日	北秋田市立鷹巣東小学校	点字を学ぼう	4人
9月24日	秋田市立土崎南小学校	見えない世界を見てみよう	51人
9月26日	秋田市立築山小学校	見えない世界を見てみよう	75人
9月26日	秋田市立高清水小学校	点字を学ぼう	52人
9月27日	秋田市立飯島南小学校	車いす体験教室	58人
10月 1日	由利本荘市立西目小学校	点字を学ぼう	40人
10月 2日	秋田市立桜小学校	盲導犬を知ろう	139人
10月 3日	由利本荘市立西目小学校	見えない世界を見てみよう	40人
10月23日	能代市立湊城南小学校	点字を学ぼう	47人
11月 7日	秋田市立下新城小学校	点字を学ぼう	16人
11月19日	秋田市立仁井田小学校	車いす体験教室	95人

(3) 車いす使用者等への理解啓発事業

車いす使用者等への理解啓発を図るため、車いす使用者が講師として県内の小学校において感染症に配慮しながら講座等を行うとともに、作成したパンフレットやリーフレットを配布した。

- ・実施学校数 6校 (令和5年度：8校)
- ・参加生徒数 398人 (令和5年度：522人)
- ・内 訳

実施日	学校名	講座名	参加児童数
9月17日	秋田市立勝平小学校	バリアフリー教室	90人
9月26日	秋田市立御所野小学校	バリアフリー教室	85人
10月7日	秋田市立高清水小学校	バリアフリー教室	53人
10月22日	横手市立朝倉小学校	県南地区車いす使用者支援講座	44人
10月31日	横手市立旭小学校	県南地区車いす使用者支援講座	35人
11月18日	秋田市立外旭川小学校	バリアフリー教室	91人

2 社会参加の促進

(1) 身体障害者更生相談事業

身体障害者の更生に必要な各種相談に応じ、適切な指導や助言を行うことで、身体障害者福祉の増進を図った。

- ・相談件数 24件

(2) 身体障害者ジパング倶楽部への加入受付

JR東日本の協力のもと、日本身体障害者団体連合会と連携してジパング倶楽部の身体障害者向け特別会員の受付業務を行った。

- ・加入件数 新規10件 更新59件 合計69件

(3) 秋田県障害者スポーツ協会が実施する事業への協力

「第22回秋田県障害者スポーツ大会」

令和6年8月24日(土)開催のボッチャ競技へ職員3名を派遣した。

「第23回全国障害者スポーツ大会(SAGA2024)」

令和6年10月8日(火)開催の結団式に会長が出席した。

令和6年10月24日(木)～28日(月)の日程で佐賀県嬉野市において開催された「ボッチャ競技」に選手として秋田ワークセンター利用者2名が参加(2位受賞)したほか、介助員として職員2名を派遣した。

(4) 秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会の開催

身体障害者に必要な相談援助を行うことを目的に市町村が配置している身体障害者相談員の相談技術の向上及び障害者福祉に関する県民の一層の理解促進を図るため、秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会を開催した。

- ・期 日 令和6年11月29日(金)

- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター3階「会議室」
- ・対 象 市町村身体障害者相談員、市町村身体障害者協会会員及び各協会事務担当者、県及び市町村の障害福祉担当行政職員、福祉関係団体の役職員
- ・内 容
 - あいさつ 秋田県身体障害者相談員連絡協議会会長
秋田県健康福祉部障害福祉課課長
 - 講 演1 演題 「熊の生態と安全対策について」
講師 秋田県生活環境部自然保護課 技 師 早坂 萌 氏
 - 講 演2 演題 「2023年7月の秋田豪雨災害における私たちの活動について」
講師 NPO法人あきた結いネット 理事長 坂下 美涉 氏
- ・参加者 52名（身体障害者相談員24名、その他行政、団体関係者28名）

(5) 「友活交流会」の開催（令和5年度からの継続事業）

写真撮影などの創作活動に関心のある障害者や創作活動を通じて交流の輪を広げたい障害者のほか、これらの活動を支援したい方などを対象に交流会を開催し、創作活動のきっかけづくりと秋田県障害者芸術福祉展への出展者の掘り起こし等を行った。

・第1回目

- 期 日：令和6年6月22日（土）午前10時から12時まで
- 会 場：秋田市文化創造館2階「スタジオB」（秋田市千秋明德町3-16）
- 来場者：参加者12名、付添4名、要約筆記者1名、講師及びスタッフ7名 計24名
- 講 師：鈴木竜典（R-room代表・写真家）
- 内 容：「秋田フォトウォーク！みんなで写真のお話！」と題して、撮影の悩みを意見交換しながら講師から撮影のこつを学んだ。その後グループ毎に会場周辺を「お散歩＋写真撮影」＝フォトウォークし、交流を深めながら創作意欲を高めた。

・第2回目

- 期 日：令和6年7月20日（土）午前10時から12時まで
- 会 場：秋田市文化創造館1階「コミュニティスペース」（秋田市千秋明德町3-16）
- 来場者：参加者13名、要約筆記者1名、講師及びスタッフ5名 計19名
- 講 師：同 上
- 内 容：「みんなで鑑賞会＋“おいしい写真撮影会”」と題して、事前に募集した各自の写真を見せ合いながら交流したほか、食べ物をもっと魅力的に撮影する実習を行った。

・第3回目

- 期 日：令和6年9月28日（土）午前10時から12時まで
- 会 場：秋田市文化創造館2階「スタジオB」（秋田市千秋明德町3-16）
- 来場者：参加者11名、要約筆記者1名、講師及びスタッフ5名 計17名
- 講 師：同 上
- 内 容：それぞれ撮影した写真を持ち寄り、鑑賞会を行ったほか、「令和6年度秋田県障害者芸術福祉展」に出品した参加者に、インタビューを行った。

後半は会場に設営された「出張写真スタジオ」で講師による撮影を体験した。

- ・令和6年度秋田県障害者芸術福祉展への出品者 6名

(6) 「市町村身体障害者協会会員等のための簡単スマホ教室」の開催（新規事業）

市町村身体障害者協会会員等を対象に、スマートフォンの基本的な使い方や安全で豊かな社会生活を送るためのスキルの習得を目的に開催した。

- ・期 日：令和6年10月11日（金）13:00～15:30
- ・会 場：秋田県心身障害者総合福祉センター3階「会議室A・B」
- ・参加者：秋田市身体障害者協会会員 7名
日本オストミー協会秋田県支部会員 1名
秋田県車いす連合会会員 1名 計9名
- ・講 師：NTTドコモ ドコモ・ハーティ講座事務局
- ・内 容：ドコモ・ハーティ講座の中から「肢体に障害のある方向けのプログラム」を開催した。「iPhone15」を使用し、手の震えがあっても快適に操作できる支援機能や詐欺被害に遭わないための安全な使い方を学んだ。

【3】（重点目標3）・市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化

1 令和6年度第42回秋田県身体障害者福祉大会並びに第24回心いきいき芸術・文化祭開会式の開催

身体障害者及び関係者が一堂に会して秋田県身体障害者福祉大会を開催し、障害者福祉への県民意識の高揚を図るとともに、併せて功労者の表彰を行った。また、第24回心いきいき芸術・文化祭開会式も同時に行った。

- ・期 日 令和6年9月20日（金）
- ・場 所 あきた芸術劇場ミルハス「中ホール」
- ・受賞者

(1) 秋田県知事表彰10名

(自立更生者5名、団体育成功労者5名)

(2) 日本身体障害者団体連合会会長表彰1名

(3) 秋田県身体障害者福祉協会会長表彰11名

(自立更生功労者7名、団体育成功労者3名、団体育成特別功労者1名)

(4) 秋田県障害者芸術福祉展表彰

(知事表彰3名、種別会長・理事長賞3名)

(5) 第24回心いきいき芸術・文化祭表彰

(「テーマ」採用認定書授与1名、「ポスターデザイン」最優秀賞1名)

- ・出席者

(1) 表彰受賞者等 30名

(2) 来賓 44名

(3) 主催者

秋田県副知事、秋田県健康福祉部長、秋田県健康福祉部次長、秋田県健康福祉部障害福祉

課長、秋田県身体障害者福祉協会正副会長・理事・監事等

・次第

《第1部》

1 開会のことば

2 君が代斉唱

3 物故会員に対する黙禱

4 あいさつ

秋田県身体障害者福祉協会会長 伊藤 英紀

秋田県副知事 神部 秀行

5 表彰

秋田県知事表彰

日本身体障害者団体連合会会長表彰

秋田県身体障害者福祉協会会長表彰

秋田県障害者芸術福祉展表彰（身体・知的・精神の各部門）

本年度テーマ採用認定書授与

本年度ポスターデザイン賞状授与

6 来賓祝辞

秋田県議会福祉環境委員長 佐藤 正一郎 様

衆議院議員 緑川 貴士 様

参議院議員 寺田 静 様

7 来賓紹介

8 祝電披露

9 体験発表

10 大会宣言

11 大会決議

《第2部 心いきいき芸術・文化祭パフォーマンスステージ》

12 心いきいき芸術・文化祭実行委員長あいさつ

13 パフォーマンスステージ（5組）

障害者関係事業所の利用者の皆様によるダンス等のパフォーマンスを「ミルハス」
舞台上で披露していただいた。

・ふれあいの郷まつくら

・弁天つくし苑

・ごろりんはうすダンサーズ

・ファンタスティック！さぶ次郎♥（NPO法人はまなす会ゆうゆう）

・NPO法人逢いダンスチーム

14 閉会のことば

2 市町村身体障害者協会長・事務担当者等会議

市町村協会の体制強化や活動の活性化を図るため、それぞれの自主事業の紹介や活動事例の情

報交換等を行った。

- ・期 日 令和6年6月20日（木）
- ・場 所 秋田県心身障害者総合福祉センター3階会議室
- ・内 容
 - (1) 事業説明
 - 1 「令和6年度秋田県身体障害者福祉協会主要事業について」
社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会
 - 2 「令和6年度秋田県障害者スポーツ協会事業について」
社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会
 - 3 「令和6年度秋田県ボッチャ協会事業について」
秋田県ボッチャ協会 副会長（兼）事務局長 佐藤 清俊
 - (2) 情報交換
 - 1 「令和6年度市町村身体障害者協会事業について」
 - 2 「市町村身体障害者協会の新規会員獲得のための対策について」
 - 3 「市町村身体障害者協会からの協議・依頼事項について」
- ・参加者 44名

3 障害者のための軽スポーツレクリエーション大会開催事業

気軽に楽しく参加できるよう「ボッチャ」大会を、秋田県ボッチャ協会の指導のもと独自のルールで開催した。

- ・期 日 令和6年10月26日（土）
- ・場 所 秋田県社会福祉会館2階体育館・展示ホール
- ・実施競技 ボッチャ
- ・参加市町村
秋田市、横手市、男鹿市、にかほ市、藤里町、八峰町、五城目町
- ・参加者数
74名（選手41名、審判16名、引率10名、手話通訳員1名、事務局6名）

4 会報「身障秋田」の発行

当協会の活動内容を広く周知するため、事業活動や予算・決算等を掲載した会報「身障秋田」を作成して市町村協会会員等に配布するとともにホームページで公開した。

- ・令和6年度発行月 令和7年1月
- ・令和6年度印刷部数 2,500部

5 法人ホームページの運営

市町村協会の会員を確保するため、障害者情報ネットワーク「ノーマネット」を活用して当法人のホームページを公開することにより、障害者福祉に関する各種情報の提供や市町村協会の紹介などを行った。

【4】（重点目標4）・研修開催による人材育成事業の推進

1 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修の実施

障害福祉事業所におけるサービスの質の確保と向上を図るため、サービス管理責任者等の知識及び技術の向上等に係る研修会を開催した。なお、令和6年度は全研修を集合研修で実施した。

（1）基礎研修の開催

【共通講義】

・期 日：令和6年8月19日（月）～9月20日（金） [eラーニングによる受講]

場 所：職場又は自宅

修了者：140名

【基礎研修1】

・期 日：令和6年10月23日（水）～24日（木）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：78名

【基礎研修2】

・期 日：令和6年11月24日（木）～25日（金）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：76名

（2）実践研修の開催

【実践研修1】

・期 日：令和6年8月1日（木）～2日（金）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：44名

【実践研修2】

・期 日：令和6年12月5日（木）～6日（金）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：96名

（3）更新研修の開催

【更新研修1】

・期 日：令和6年9月5日（木）～6日（金）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：60名

【更新研修2】

・期 日：令和6年10月3日（木）～4日（金）

・場 所：秋田県社会福祉会館10階 大会議室

・修了者：56名

(4) 研修準備打合せ会の開催

【基礎研修】打合せ会

1) 講師打合せ

- ・期 日：令和6年10月10日（木）
- ・場 所：事務局相談室
- ・内 容：研修内容、演習の進め方の確認等
- ・出席者：講師1名、事務局2名

2) 講師・ファシリテーター打合せ

- ・期 日：令和6年10月17日（木）
- ・場 所：秋田県社会福祉会館9階 第4会議室
- ・内 容：研修内容の説明及び演習の進め方等
- ・出席者：講師・ファシリテーター14名、事務局4名

【実践研修】打合せ会

1) 講師打合せ

- ・期 日：令和6年5月29日（水）
- ・場 所：事務局相談室
- ・内 容：研修内容、演習の進め方の確認等
- ・出席者：講師3名、事務局2名

2) 講師・ファシリテーター打合せ

- ・期 日：令和6年7月8日（月）
- ・内 容：研修内容の説明及び演習の進め方等
- ・場 所：秋田県社会福祉会館9階 第3会議室
- ・出席者：講師・ファシリテーター17名、事務局4名

【更新研修】打合せ会

1) 講師・ファシリテーター打合せ

- ・期 日：令和6年8月23日（金）
- ・場 所：秋田県社会福祉会館9階 特別会議室
- ・内 容：研修内容の説明及び研修2日目（スーパービジョン）の模擬演習等
- ・出席者：講師・ファシリテーター21名、事務局4名

【全体会】打合せ会

- ・期 日：令和7年3月18日（火）
- ・形 式：オンライン会議
- ・内 容：令和6年度研修実施状況報告及び令和7年度研修方針・日程等
- ・出席者：講師・ファシリテーター21名、県障害福祉課1名、事務局4名

(5) 国の指導者養成研修への参加

1) 専門コース別研修（意思決定支援コース・障害児支援コース・就労支援コース）

- ・期 日：令和6年9月10日（火）
- ・形 式：ズームによる双方向通信
- ・参加者：5名

2) サビ管・児発管研修（基礎研修コース・実践研修コース・更新研修コース）

- ・期 日：令和6年9月11日（水）～13日（金）
- ・場 所：国立障害者リハビリテーションセンター学院
- ・参加者：3名

【5】（重点目標5）・3障害（身体・知的・精神）を統合した事業の推進

1 芸術・文化講座開催等事業

第24回心いきいき芸術・文化祭を次のとおり開催した。

(1) 第24回心いきいき芸術・文化祭の開催

- ・期 日 令和6年9月20日（金）～22日（日）
- ・場 所 秋田市にぎわい交流館AU【2階展示ホール、アートギャラリー、3階多目的ホール】、あきた芸術劇場ミルハス【中ホール】（9月20日13:00～16:00）

・内 容

- 1 第42回秋田県身体障害者福祉大会並びに第24回心いきいき芸術・文化祭開会式
（内容については、令和6年度第42回秋田県身体障害者福祉大会並びに第24回心いきいき芸術・文化祭開会式の開催に記載）
- 2 障害者芸術福祉展「出品作品数303点。行事終了後に360度カメラで撮影したバーチャルツアー形式の映像を協会ホームページで常時公開」
- 3 いきいきマルシェ（製品販売）「延べ46か所の障害福祉事業所が参加した手工芸品や加工食品・野菜などの販売」
- 4 点字体験（秋田県点字図書館）「点字に対する理解を深めるための名刺やしおりなどの作成」
- 5 日本精神科看護協会 秋田支部の出展「日本精神科看護協会 秋田支部の方がアルコールパッチテストや悩み相談などを実施」
- 6 「Ashirase（あしらせ）」の講演及び体験会「視覚障害者の移動を支援する機器「あしらせ」について講演し、その後体験会を実施」
- 7 視覚障害者体験「目隠しをしての白杖歩行の体験を実施」
- 8 石見（いわみ）神楽「大蛇（おろち）」の公演「2025 大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクトとして島根県の社会福祉法人いわみ福祉会の桑の木神楽会が伝統芸能「石見（いわみ）神楽「大蛇（おろち）」」を公演」（参加者約100名）
- 9 無料映画上映会 「2本の障害福祉に関する映画を上映」（参加者90名）
- 10 その他「スタンプラリー、キッチンカーの出店」
3日間来場者延べ約1,700人

(2) 実行委員会の開催

① 第1回実行委員会

- ・期 日 令和6年6月13日(水)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①役員選出②予算について③開催要綱(案)についてほか
- ・出席者 委員19名、事務局6名

② 第2回実行委員会

- ・期 日 令和6年7月18日(水)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①イベント内容について②各種募集状況についてほか
- ・出席者 委員18名、事務局6名

③ 第3回実行委員会

- ・期 日 令和6年9月9日(木)
- ・場 所 県心身障害者総合福祉センター
- ・内 容 ①開会式について②各種イベントについて③役割分担についてほか
- ・出席者 委員18名、事務局7名

2 専門相談機関設置事業(障害者110番)

障害に関する全般的な相談や障害を理由とする差別に関する相談に対応するため、常設の相談窓口を設置した。また、偶数月の第3火曜日に弁護士による専門相談を行ったほか、県及び市町村の相談窓口への支援等を行った。

- ・相談件数実績 241件

(うち、弁護士相談 3件・差別に関する相談 0件)

II 事業別の概要

【1】障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績

1 総 括

昨今の社会経済情勢の変化により不確実性が高まっていく中、エネルギー高や物価高騰は、各事業を圧迫してきた。そうした中であっても、利用者様の大きな楽しみの一つである食事については、経費節減に努めながら質を落とすことなく進めてきた。就労支援事業では、材料費や消耗品代などの高騰が事業に大きな影響を与える状況となったが、何とか目標額を上回り、利用者様への工賃を昨年並みに支払うことができた。

生活介護支援事業では、高齢化等により多様化する利用者様のニーズに応えるため、サービス利用満足度調査を実施するとともに、要望や意見を個別支援計画に反映させるなどして、きめ細かな対応を行った。また、施設外におけるレクリエーション活動を積極的に行い、日常生活の充実を図った。

感染症対策は、日常的に対策を行ったほか、簡易居室や個室などでの迅速な対処により、施設内での集団感染は発生せず、安全で安心な施設内生活がおくれた。

また、感染症対策や衛生管理のみならず、緊急時や災害時における施設の在り方を含めた業務継続計画を策定し、緊急時の備えとすることができた。

なお、令和6年度の事業実績は次のとおりである。

2 各種事業の定員及び現員の状況 (令和7年3月31日現在)

施設入所支援事業	利用定員	48名	／	現員	48名 (男性33名、女性15名)
生活介護支援事業	利用定員	40名	／	現員	35名 (男性23名、女性12名)
就労継続支援B型事業	利用定員	40名	／	現員	38名 (男性30名、女性8名)

3 職員配置の状況 (令和7年3月31日現在)

職 種	職 員 数		担 当 業 務
	令和6年度	令和5年度	
所 長	1(1)	1(1)	所内の総括、苦情解決責任者、会計責任者
サービス管理 責任者	2	2	個別支援計画、アセスメント、モニタリング等相談業務及び記録等の確認 (生活・施設入所支援1名、就労支援1名)
事 務 員	4(3)	3(2)	予算・決算の事務処理及び金銭の出納、利用料の請求・精算等、職員の給与、福利厚生、利用者支援等
生活支援員	14(5)	16(8)	生活介護支援及び日常生活支援、相談業務
就労支援員	8(5)	9(6)	作業支援及び指導、製品管理、営業販売、相談業務
看 護 師	2(1)	2(1)	利用者等の健康管理
栄 養 士	1	1	給食献立、利用者の栄養管理
調 理 員	5(3)	4(2)	給食業務
嘱 託 医	1(1)	1(1)	利用者の健康管理・診断、医務相談
合 計	38(19)	39(21)	嘱託医除く

※ (再掲) は嘱託職員・非常勤職員及びパート職員数

4 事業の実施状況

(1) 施設入所支援事業

施設内の換気や消毒、体調確認等の基本的な感染症対策を行いながら、利用者様が安全で安心して生活できるように支援の充実に努めた。個別支援計画は、利用者様からのアセスメントやモニタリングに十分時間を取り、利用者様の多様なニーズに対応できるような支援計画の作成に努めた。

また、日々の健康管理や食事・排せつ介助、生活相談を行うとともに、満足度調査を実施するなど、利用者様が充足感を得られるよう適切なサービス提供に努めた。

(2) 生活介護支援事業

日中活動やレクリエーションなどを実施するとともに、利用者様の多様なニーズに応えるため、食事や入浴、排せつの介助、生活情報の提供など、日常生活における個別支援計画に沿ったサービスの提供に努めた。

また、身体の機能維持や健康の保持、増進のために、理学療法士による機能訓練計画に沿った訓練を実施したほか、通院・受診及び服薬支援のサービス提供を行った。

食生活の充実を図るため、個人に合った福祉用具を準備し、年齢とともに低下する噛む力や、飲み込む力の低下を予防するための口腔体操を行うなど、支援の充実に努めた。

利用者様が楽しみにしてきた花見会、日帰り旅行や買い物支援などは活動しやすい少人数で行った。また、カラオケ、レクリエーション活動としてのポッチャ等を中心に行うことに加えて、他の施設との交流や全国障害者スポーツ大会に参加するなど、活動や交流の場が広がった。

利用者様の高齢化と重度化による転倒などの事故防止や、移乗支援などによる職員の負担軽減を図るため、福祉ロボット用具の積極的な活用などに取り組んだ。

(3) 就労支援事業

各地域の社会福祉協議会や民生児童委員協議会の活動が少しずつではあるが活発化し、それに伴い総会資料や地域活動をまとめた機関紙等の受注に回復が見られた。また、官公需における受注件数が増加し、軽印刷作業売上の約25%を占めたが、これは各所に優先調達推進法が周知されたことと、積極的な営業展開を図ったことによるものと考えている。一方、一般企業における売上は、思いのほか伸び悩んでおり、経費節減のための発注抑制や、時代の流れでもあるペーパーレス化が大いに影響を及ぼしていると思われる。年賀状印刷においても、郵便料金の値上げが受注件数の減少に拍車をかけ、件数及び売上共に前年比約2割の減少となった。

軍手製造作業については、受注件数及び売上は減少傾向にあり売上目標に対して82%の達成率であったほか、原材料費の値上げも続いている状況である。ウエスの受注件数及び売上も減少傾向にあり、売上目標に対して88%の達成率であった。また、新たに始めた小型家電の基盤解体リサイクル作業であるパソコンの基板取り出し作業については、年間約300台のパソコンを回収し、分解作業を行った。

令和2年から休止していた就労継続支援A型事業については、再開しても収支改善が見込めないことから、休止期間満了の令和6年度末をもって廃止した。

5 施設設備の整備状況及び機器の購入状況

(1) 施設全般

- ①給水ポンプの入替
- ②施設内 見守りカメラの増設
- ③熊対策用 構内放送設備の設置
- ④厨房内 エアコンの設置

(2) 施設入所支援及び生活介護支援事業

- ①ガス衣類乾燥機の設置

(3) 就労支援事業

- ①オンデマンドプリンタの入替
- ②製本用丁合機の入替
- ③第2作業棟の電動巻き上げ機修理

6 その他の整備状況

(1) 福祉ロボットの導入

障がい福祉ロボット導入支援事業費補助金225,000円の交付を受けて、日常生活における利用者様の移乗介助に伴う身体的負担の軽減と支援職員の腰痛防止を図るための排泄リフトを導入した。

(購入費用584,000円)

(2) 清掃用カートの導入

障がい者雇用拡大支援事業補助金69,000円の交付を受けて、障害のある職員の業務における身体的負担の軽減と作業の効率化を図るための清掃用カート一式を導入した。(購入費用138,000円)

円)

7 給食提供の状況

(1) 行事食・選択食の実施

四季折々の日本の食文化や、斬新なアイデアを盛り込んだメニューに加えて、満足感や幸福感など心理的な面も大切にしながら、楽しく豊かな食事の提供を目指して、年15回の行事食と2回の選択食を実施した。

(2) 利用者様の健康づくり

年5回の食事摂取量調査の結果や身体・健康状況に関するデータを基に、支援員、看護師などの専門職員と連携して個別の栄養ケア・マネジメントを作成し、健康的な身体機能の維持増進を図るための栄養と健康の管理に努めた。生活習慣病の重篤化と合併症を予防するため、栄養バランスと減塩を重視したメニューの提供と食事指導を実施した。

(3) 福祉弁当

下北手地区社会福祉協議会から委託を受けて、地域の独居老人に対して月1回(6月～9月の夏季間は中止)年間124食の福祉弁当を提供した。

8 健康管理の状況

(1) 定期健康診断、定期診察等

健康管理のために年2回の定期健康診断、年1回の歯科検診、月1回の嘱託医の診察、月1回の体重測定、週1～2回の血圧測定を実施し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。

また、利用者様のほとんどが何らかの疾病を抱え治療中であるため、計画的な定期通院と服薬管理の徹底に努めた。歯科往診による定期的なクリーニングや治療を実施し、口腔内の健康維持に努めた。

(2) 機能訓練の実施

月曜日から金曜日までの午後に、理学療法士の作成した個別プログラムに沿った機能訓練を実施し、身体機能の保持増進を図った。

また、午前中に20分間「お口の体操」を行い、口腔機能の低下防止に努めた。

(3) 感染症の予防

①日常的に手洗いやうがい、手指消毒、外出受診時のマスクの着用などの基本的な予防策や施設内消毒と換気を継続して行い、感染予防に努めた。

②インフルエンザの感染予防として、接種料金の一部又は全額を負担し、利用者様58名、職員30名に予防接種を実施した。その結果職員と利用者様にインフルエンザ罹患者はなかった。

③新型コロナウイルスの感染予防として、65歳以上の定期接種対象者だけでなく、65歳以下の方も接種料金の一部を負担し、利用者様35名、職員3名にワクチン接種を実施した。散発的な感染は見られたが、抗原キットの活用と陽性者対応としての個室の使用により、クラスター発生には至らなかった。

④感染性胃腸炎(ノロウイルス、O-157等)の感染予防として、朝の会やポスターの掲示等を通じて、利用者様や家族の方々の意識の高揚に努めた。また、職員については、所内研修等において発生時の対応についての手順、注意事項の確認を徹底したところ、1名罹患したが、感染の拡大はなかった。

9 衛生管理の状況

(1) 寝具類・シーツ交換

寝具類（枕、掛布団・肌掛、ベットパット等）の交換を年1回、シーツ・カバー類（掛布団・肌掛布団用）は毎週1回交換するなど、衛生管理に努めた。

(2) 居室、浴室等の清掃

利用者様の居室清掃（整理整頓及び室内清掃）を週1回以上行ったほか、共通利用スペースの浴室、脱衣室、廊下、多目的ホール等の清掃を毎日行うなど、衛生管理に努めた。

(3) 入浴

一般入浴は月・木曜日（午後）に、特浴は月・木曜日（男子は午前、女子は午後）に、支援入浴は火・金曜日（女子は9時から10時30分まで、男子はそれ以降16時まで）に実施した。また、7月～9月の期間は水・土曜日にもシャワー浴を行ったほか、入浴できない方には清拭等も行うなど、身体の衛生保持に努めた。

10 災害事故防止等訓練の状況

(1) 重度障害者への防災上の配慮

- ①同室者（2人部屋）を決めるにあたっては、できるだけ同種の障害（歩行の困難な人同士や聴覚障害者同士等）の組み合わせにならないよう配慮した。
- ②障害の程度に応じた避難路の確保が求められることから、歩行の困難な人や目の不自由な人等は避難口に近い居室にするなどの配慮を行った。
- ③予備の車椅子を利用しやすい場所に配置するなど、利便性に配慮した。

(2) 事故や災害の防止と安全のために

①防災計画

きめ細かな消防・防災計画の整備と万全な備えを行うとともに、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底するなど、予防に重点を置いた取組を実施した。

②避難訓練

日中・夜間（想定）も含めた総合訓練として、通報、初期消火、避難、消火器操作訓練等を行ったほか、災害を予防する防火思想の普及・徹底を図った。

また、災害時や停電時における安全対策や機械器具、装置の操作手順を周知するとともに、自家発電機からコンセントまでの電線の整備を行い、常にナースコール対応等ができるよう、停電時の電源を確保した。

(3) 非常事態発生時も必要なサービスが継続的に提供されるために

①事業継続計画（BCP）の策定

災害や感染症などの非常事態の発生時において、損害を最小限にとどめつつ、利用者様に必要なサービスを継続的に提供できるよう、事業継続計画（BCP）を策定した。

②研修・訓練

実効性のあるBCPとするために、研修による職員への周知と訓練による点検、改善に取り組んだ。

11 就労支援事業の研修旅行

事業名	実施日	場所	参加者数
就労利用者及び家族会合同研修旅行	6月26日(水)	雄勝なごみ会 ぱあとなあ(就労支援B型) 秋田ふるさと村	利用者11名、家族会3名、 合計14名

12 就労支援事業の推移

(1) 事業収入額の推移

(単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
令和2年度	40,123,467	13,755,704	53,879,171
令和3年度	38,431,395	14,047,650	52,479,045
令和4年度	(-)	51,928,912	51,928,912
令和5年度	(-)	51,589,032	51,589,032
令和6年度	(-)	57,355,722	57,355,722

(2) 工賃支給実績額の推移

(単位：円)

区分	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
令和2年度	12,658,061	5,069,000	17,727,061
令和3年度	10,613,193	5,429,040	16,042,233
令和4年度	(-)	6,451,839	6,451,839
令和5年度	(-)	7,656,065	7,656,065
令和6年度	(-)	7,510,611	7,510,611

13 利用者の状況

(1) 施設入所・生活介護支援事業

①市町村別の入所・生活介護利用者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
秋田市	21	13	34	13	11	24
男鹿市	2	0	2	1	0	1
横手市	0	1	1	0	0	0
大仙市	4	0	4	4	0	4
能代市	3	0	3	3	0	3
北秋田市	1	0	1	0	0	0
潟上市	1	0	1	1	0	1
小坂町	0	0	0	0	0	0
五城目町	1	0	1	1	0	1
三種町	0	1	1	0	1	1
計	33	15	48	23	12	35

②年齢別・性別の入所・生活介護利用者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
20歳未満	0	0	0	0	0	0
20～29	1	0	1	1	0	1
30～39	1	1	2	1	1	2

40～49	3	2	5	2	2	4
50～59	10	3	13	6	1	7
60～69	9	6	15	8	5	13
70歳以上	9	3	12	5	3	8
計	33	15	48	23	12	35
平均年齢	60歳	60歳	60歳	60歳	60歳	60歳

③入所・生活介護利用者の利用期間

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	3	1	4	1	0	1
1年以上～3年未満	8	2	10	4	2	6
3年以上～5年未満	5	1	6	5	1	6
5年以上～10年未満	4	4	8	4	3	7
10年以上～15年未満	1	1	2	1	1	2
15年以上	12	6	18	8	5	13
計	33	15	48	23	12	35

④障害別利用者区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
身体障害者	30 (7)	11 (4)	41 (11)	20 (5)	8 (2)	28 (7)
知的障害者	7 (5)	8 (4)	15 (9)	6 (4)	6 (2)	12 (6)
精神障害者	3 (2)	1 (1)	4 (3)	2 (1)	1 (1)	3 (2)
計	40 (7)	20 (5)	60 (12)	28 (5)	15 (3)	43 (8)

⑤入所・生活介護利用者の障害支援区分

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
支援区分1	0	0	0	0	0	0
支援区分2	1	0	1	0	0	0
支援区分3	14	7	21	7	6	13
支援区分4	10	5	15	8	3	11
支援区分5	6	3	9	6	3	9
支援区分6	2	0	2	2	0	2
非該当	0	0	0	0	0	0
計	33	15	48	23	12	35

⑥新規入所・生活介護利用者数と利用直前の生活状況

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
他施設利用	0	0	0	0	0	0
自宅	1	0	1	1	0	1
病院	2	1	3	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0

計	3	1	4	1	0	1
---	---	---	---	---	---	---

⑦退所利用者数と退所理由

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
自宅（家庭復帰）	0	0	0	0	1	1
他施設	1	0	1	0	0	0
通所から入所へ	0	0	0	0	0	0
病院	2	1	3	2	1	3
グループホーム	0	0	0	0	0	0
計	3	1	4	2	2	4

⑧身体障害区分

(内数)は重複者数

(単位：名)

区分	入所利用者			生活介護利用者		
	男	女	計	男	女	計
上肢障害	17(17)	8(8)	25(25)	11(11)	7(7)	18(18)
下肢障害	22(17)	9(8)	31(25)	15(11)	8(7)	23(18)
体幹障害	5(1)	0	5(1)	3(1)	0	3(1)
視覚障害	1	0	1	0	0	0
聴覚障害	2(1)	2	4(1)	2(1)	0	2(1)
内部障害	2(1)	0	2(1)	2(1)	0	2(1)
計	49(18)	19(8)	68(26)	33(12)	15(7)	48(19)

(2) 就労支援事業

①市町村別利用者数

(単位：名)

区分	B型通所利用者		
	男	女	計
秋田市	19	4	23
男鹿市	1	0	1
横手市	0	1	1
能代市	1	0	1
計	21	5	26

②年齢別・性別利用者

(単位：名)

区分	B型通所利用者		
	男	女	計
～19	0	0	0
20～29	2	0	2
30～39	3	4	7
40～49	5	1	6
50～59	4	0	4
60～69	7	0	7
70歳以上	0	0	0
計	21	5	26

平均年齢	49歳	37歳	43歳
------	-----	-----	-----

③利用者の世帯状況 (単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
親が生存	14	4	18
兄弟、姉妹世帯	5	0	5
配偶者有り	1	0	1
家庭消滅	0	0	0
その他	1	1	2
計	21	5	26

④新規利用者数と利用直前の生活状況 (単位：名)

区 分	B型通所利用者		
	男	女	計
他事業所利用	0	1	1
自宅	0	0	0
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤障害支援区分の状況 (単位：名)

支援区分	1	2	3	4	5	6	非該当	計
利用者数	1	4	16	8	0	0	9	38

⑥障害別利用者区分 (内数) は重複者数 (単位：名)

区分	男	女	計
身体障害者	23(3)	6(1)	29(4)
知的障害者	10(3)	2(1)	12(4)
精神障害者	0	1	1
その他(手帳無し)	0	0	0
計	33(3)	9(1)	42(4)

⑦身体障害区分 (内数) は重複者数 (単位：名)

区分	男	女	計
上肢障害	7(3)	1(1)	8(4)
下肢障害	11(3)	4(1)	15(4)
体幹障害	3	0	3
視覚障害	1	0	1
聴覚障害	2	2	4
内部障害	2	0	2
計	26(3)	7(1)	33(4)

(3) 医務室における処置及び利用者の入退院の状況

(単位：名)

区分	施設医務室における処置		入院		通院		
	実人員	延処置日数	実人員	延日数	実人員	延日数	
診療科目	内科系疾患	2	451	5	86	45	154
	外科系疾患	12	1,798	2	59	19	68
	精神科	0	0	2	123	13	120
	皮膚科	29	4,040	0	0	23	74
	眼科	14	2,194	1	4	24	73
	歯科	0	0	0	0	31	199
	耳鼻科	0	0	0	0	6	26
	泌尿器科	0	0	1	21	10	297
	その他	0	0	1	15	9	16
計	57	8,483	12	308	180	1,027	

(4) 感染症の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
① MRSA <ul style="list-style-type: none"> ・処置前後の手洗い、手指消毒 ・処置時のディスポ手袋の使用 ・高圧蒸気滅菌器による器具消毒 ② 結核 <ul style="list-style-type: none"> ・胸部レントゲン検査実施（年1回） ・内科健診（年2回） ③ 疥癬 <ul style="list-style-type: none"> ・皮膚、衣類等の清潔保持 ・居室内、ベッド周囲の環境整備 ④ 感染性胃腸炎（ノロウイルス、0-157 など） <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがいの励行 ・自動手洗い機、石鹼液の設置 ・共有部分の消毒 ⑤ インフルエンザ、新型コロナウイルス <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、手指消毒 ・マスクの着用 ・環境整備 ・ワクチン接種 	① 処置前後の手洗い、手指消毒を徹底した。処置時にディスポ手袋を着用し、処置毎に交換した。週1回器具の消毒を実施した。 ② 結核検診として職員、利用者全員に胸部レントゲン検査を実施した。嘱託医による内科検診（問診、聴診）を年2回実施した。 ③ 寝具類の清潔を図るため、年1回以上の寝具の交換、週1回のシーツ・カバー類の交換、居室清掃を実施した。 ④ 手洗い、うがいを徹底した。吐物の処理方法について全職員に研修を実施し、周知徹底した。 ⑤ 職員の勤務中のマスク着用を徹底した。利用者様に外出時のマスクの着用、外出から帰寮後の手洗い、うがい、手指消毒を徹底させた。また、換気、共有部分の消毒を徹底した。嘱託医、かかりつけ医によるワクチン接種を行い、インフルエンザワクチンは利用者様58名、職員30名に、新型コロナワクチンは利用者様35名、職員3名に実施した。

(5) 利用者の健康診断

期間	実施人員	調査項目	検査機関
6月5日	43名 12名 29名 35名 46名 32名 46名 25名	胸部X線検査(直接) 大腸がん(便潜血) 採血(貧血、肝機能) 心電図 視力検査 聴力検査 尿検査 内科検診(就労B型利用者)	中通りハビリ病院 ふき健診クリニック
5月9日 ~9月12日	入所者 全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	高橋内科医院(嘱託医)
10月10日 ~令和7年 3月13日	入所者 全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	高橋内科医院(嘱託医)

14 職員の定期健康診断

期間	実施人員	実施職種	検査項目	検査機関
6月5日 ~7月22日	14名	35歳以下の職員	胸部X線、尿、心電図、採血他 (労働安全衛生法66条に基づく検査)	ふき健診クリニック
6月10日 ~8月21日	27名	35歳以上の職員	生活習慣病予防、大腸がん、 胃検診、乳癌、子宮がん	秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター
12月2日 ~2月4日	12名	夜勤職員	血圧、問診、尿、身長、体重 聴力、心電図、採血	ふき健診クリニック

15 災害防止及び事業継続するための訓練

①避難訓練の実施状況

月 日	訓練の想定	内容詳細
5月15日	日中地震想定訓練	非常通報、避難誘導、救急救護、非常放送
10月9日	夜間火災想定訓練 消火器操作訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送
2月26日	夜間火災想定訓練	非常通報、非常放送、緊急連絡網

②事業継続計画(BCP)の研修・訓練の実施状況

月 日	研修・訓練	内容詳細
9月18日	研修(自然災害)	BCPの周知、マニュアルの理解等
9月25日	研修(感染症)	BCPの周知、マニュアルの理解等
10月30日	実地訓練(自然災害・地震)	本部立ち上げ、BCP発動、初動体制等
12月3日	実地訓練 (感染症・コロナ発生)	本部立ち上げ、BCP発動、初動体制等
2月26日	緊急連絡網通報訓練	通報訓練

16 所内研修の実施

実施日	実施内容	講師及び開設者	摘要
5月13日 14日 16日 28日 31日	急変時の判断と対応	看護師 藤田	参加者 23名
6月5日	救急救命講習会	城東消防署 救急救命士	参加者 6名
6月14日	施設視察研修 障がい者支援施設 ほくと		参加者 6名
8月29日	感染症対策研修会	JA 秋田厚生連 秋田厚生医療セン ター感染管理室 看護師長 水野住恵	参加者 21名
10月29日	施設視察研修 障害者支援施設 グリーンハウス		参加者 8名
11月13日	虐待ハラスメント防止研修 (伝達研修)	生活支援員 富野	参加者 20名
12月17日 19日 20日 23日 24日 25日	感染症対策研修 (個人防護具着脱)	看護師 藤田	参加者 22名
2月5日	障害者虐待防止・権利擁護 伝達研修	虐待防止委員会 支援員 佐藤大	参加者 22名

17 所外研修の実施

月日	研修名・場所	参加者
4月25日	秋田県社会就労センター協議会及び施設長等セミナー (WEB)	就労支援課長
4月25日	給与大臣「定額減税」解説セミナー(2024年6月以降の 給与計算への影響と対策) (WEB)	事務員
5月29日	CareTEX 仙台 '23(介護用品展、介護施設産業展、介護 施設ソリューション展) 仙台市 夢メッセみやぎ	所長、生活支援員 2 名、栄養士
6月6日	秋田県運営適正化委員会 福祉サービスに関わる苦情 解決研修会(初級編) (WEB)	GH サービス管理責 任者
6月14日 ~15日	秋田県災害派遣福祉チーム員登録基礎研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
6月18日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
6月19日	あいおいニッセイ同和損保 WEB セミナー BCP 机上訓練 (自然災害編) (WEB)	生活支援課長 総務企画課長待遇

6月20日 ～21日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース） 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
6月24日	算定基礎事務講習会 秋田市 ミルハス	事務員
7月3日	工賃向上セミナー 秋田市 アキタパークホテル	生活支援員
7月11日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース） 秋田市 秋田県社会福祉会館	相談支援専門員
7月12日	障害者雇用支援セミナー 秋田市 秋田市文化創造館	就労支援課長
7月17日	あいおいニッセイ同和損保 WEB セミナー BCP 机上訓練 （感染症編）（WEB）	生活支援課長 総務企画課長待遇
7月24日	メンタルヘルス講習会 秋田市 秋田県社会福祉会館	総務企画課長
7月25日 ～26日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース） 秋田市 秋田県社会福祉会館	栄養士
7月30日	安全運転管理者等法定講習 秋田市 雄和市民サービスセンター	総務企画課長
8月19日	秋田県障害福祉総合支援法に基づく集団指導（入所他） 秋田市 秋田市役所正庁	総務企画課長
8月20日	秋田県運営適正化委員会福祉サービスに関わる苦情解決研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
8月21日	施設給食担当職員研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	栄養士
8月26日	秋田県障害福祉総合支援法に基づく集団指導（計画相談） 秋田市 秋田市役所正庁	地域生活支援課長
8月29日 ～30日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田県中央地区老人福祉総合エリア	生活支援員
9月2日	虐待・ハラスメント防止研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
9月5日	サービス管理責任者更新研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	サービス管理責任者
9月10日	サービス管理責任者指導員養成研修 （WEB）	相談支援専門員
10月3日 ～4日	国際福祉機器&フォーラム 東京都 東京ビックサイト	所長、総務企画課長、生活支援課長、生活支援員

10月17日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
10月17日 ～18日	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	相談支援専門員
10月17日 ～19日	秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅰ 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
10月29日	高齢者雇用推進セミナー 秋田市 秋田県生涯学習センター	総務企画課長待遇
11月1日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田県中央地区老人福祉総合エリア	生活支援員
11月7日 ～8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（管理職員コース） 秋田市 秋田県社会福祉会館	地域生活支援課長
11月7日	広報誌講習会 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
11月11日	秋田県セルフ協 農福連携セミナー 秋田市 スクールファーム河辺、河辺総合福祉交流センター	就労支援課長
11月12日	しせつの損害補償セミナー 人材活用研修・職員の業務負荷軽減に向けて ～カラハラ対策・ICT活用～ (WEB)	総務企画課長待遇
11月14日	調理技術研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	調理員
11月20日	障害者理解促進（事業者向け）研修会 (WEB)	就労支援課長 職業指導員
11月21日	レクリエーション講習会 秋田市 遊学舎	生活支援員
11月25日	「独立行政法人福祉医療機構退職手当共済」及び「秋田県民間社会事業福利協会」「福利厚生センター」実務研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	事務員
11月26日 ～27日	施設・社協職員のためのファシリテーション基礎講座 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員
11月29日	雇用管理セミナー 秋田市 秋田県生涯学習センター	総務企画課長
11月29日	秋田県身体障害者相談員連絡協議会研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	所長
12月5日 ～6日	サービス管理責任者実践研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員

12月7日	秋田県社会福祉施設等感染症対応向上推進者養成研修 秋田市 秋田市保健センター	看護師
12月12日	社会保険事務説明会 秋田市 さきがけホール	事務員
12月19日	障害者虐待防止・権利擁護研修 秋田市 秋田県庁第2庁舎	生活支援員
12月25日 ～26日	秋田県相談支援従事者初任者研修 秋田市 秋田県中央地区老人福祉総合エリア	生活支援員
1月23日 ～25日	秋田県災害派遣福祉チーム員スキルアップ研修Ⅱ 秋田市 秋田県社会福祉会館	サービス管理責任者 生活支援員
2月13日	省エネ・節電・BCP対策セミナー 秋田市 秋田県教育会館	所長 総務企画課長
3月5日	秋田県社会福祉法人経営者協議会障害者施設経営委員会 秋田市 アキタパークホテル	所長 地域生活支援課長
3月19日	秋田県障害者総合支援法関係説明会 (WEB)	所長 事務員2名

【2】秋田ワークセンター相談支援事業の実績

1 総括

障害福祉サービス利用者様に対するアセスメント結果を踏まえて、サービスの利用調整を行いながら包括的かつ継続的にサービスが提供されるよう支援した。またサービスが的確に提供されているか、新たなニーズは発生していないか等モニタリングを行い、社会資源を有効活用しながら自己実現できるようサービス等利用計画を見直した。

利用者様・家族が抱える複合的なニーズに対して、医療・保健・介護・福祉・教育・雇用・司法等多面的かつ専門的な視点からその本質を見極めて、多職種連携及びチームアプローチにより、本人・家族へのケアマネジメントを円滑に実施した。

相談支援専門員としての資質向上と専門的知識の習得を図るため、各種研修会に積極的に参加した。

令和6年度の事業実績は以下の通りである。

2 事業及び職員

- (1) 事業 指定特定相談支援事業（計画作成）
- (2) 職員 管理者 1名（常勤・兼務）
相談支援専門員 2名（常勤・専任）

3 事業の内容

- (1) サービス等利用計画の作成及び提出
- (2) サービス等利用計画作成後の便宜の提供
- (3) サービス等利用計画の変更

4 事業の主な対象者

- (1) 身体障害者
- (2) 知的障害者

5 月別件数

月	サービス等利用計画作成		モニタリング	
	身体	知的	身体	知的
4月	5	20	13	10
5月	1	4	14	14
6月	4	8	5	17
7月	5	3	8	17
8月	6	2	4	10
9月	2	4	15	24
10月	3	3	9	12
11月	3	4	9	10
12月	8	9	8	5
1月	1	8	11	10
2月	2	5	7	5
3月	2	1	9	5
計	42 (39)	71 (81)	112 (143)	139 (138)
総数	113 (120)		251 (281)	

※計画相談モニタリング加算含む

() は前年度実績

6 会議・研修への参加状況

期間	内容	場所	出席者
月1回開催 (7月～2月)	障がい者総合支援協議会 相談支援部会	秋田スポーツPLUS・A SPスタジアム会議研修室 等	相談員
6月13日	第1回心いきいき芸術・文化祭実行委 員会	社会福祉会館	相談員
7月9日	障がい者総合支援協議会合同部会	秋田市役所正庁	相談員
7月11日～12日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過 程チームリーダーコース	社会福祉会館	相談員
7月18日	第2回心いきいき芸術・文化祭実行委 員会	社会福祉会館	相談員
8月1日～2日	サービス管理責任者研修実践研修 ファシリテーター	社会福祉会館	相談員

8月24日	障害者スポーツ大会 ポッチャ競技	心身障害者福祉センター	相談員
8月31日	第1回ふくしのおしごと総合フェア	ホテルメトロポリタン秋田	相談員
9月5日～6日	サービス管理責任者研修更新研修ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
9月9日	第3回心いきいき芸術・文化祭実行委員会	社会福祉会館	相談員
9月10日	サービス管理責任者指導者養成研修	オンライン	相談員
9月10日	第1回秋田市基幹相談支援センター事例検討会	ASPスタジアム	相談員
9月20日～21日	心いきいき芸術・文化祭	秋田市にぎわい交流館 AU	相談員
10月3日～4日	サービス管理責任者研修更新研修ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
10月17日～18日	精神障害者支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修会	社会福祉会館	相談員
11月7日	福祉職員キャリアパス管理職員コース	社会福祉会館	相談員
11月27日	第2回秋田市基幹相談支援センター事例検討会	ASPスタジアム	相談員
12月5日～6日	サービス管理責任者研修実践研修ファシリテーター	社会福祉会館	相談員
2月4日	秋田市基幹相談支援センター研修会	秋田市役所 第3委員会室	相談員
3月5日	障害者施設経営委員会情報交換会	秋田パークホテル	相談員

7 職員の定期健康診断

期間	検診機関	実施人員
7月2日	秋田赤十字病院	1
7月8日	秋田赤十字病院	1

【3】コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績

1 総括

職員と利用者様が、基本的感染対策の手洗いや、消毒などを徹底することで、感染者が出なかった。谷内佐渡ホームは、利用者様が安心して満足のいく生活を送ることができるよう、サービス利用に関するアセスメントやモニタリングに十分に時間をとり、関係者で話し合いを行い、個別支援計画の充実を図ったことにより、年間を通して空室になることなく維持した。

また、短期入所については、相談支援事業所と連携を図ることで、谷内佐渡ホームの定期利用者様はもちろんのこと、新規利用者様の受入れも積極的に行った。

令和6年度の事業実績は次のとおりである。

2 定員及び現員の状況 (令和7年3月31日現在)

共同生活援助 利用定員 8名／現員 8名 (男性8名)

短期入所 利用定員 2名／現員 2名 (男性2名)

3 職員配置の状況 (令和7年3月31日現在)

① 管理者 1名 (兼務 1名)

② サービス管理責任者 1名 (兼務 1名)

③ 生活支援員 2名 (兼務 2名)

④ 世話人 4名 (兼務 1名)

⑤ 事務員 1名 (兼務 1名)

⑥ 夜間支援従事者 8名 (兼務 8名)

計 17名 (兼務11名)

4 事業の実施状況

(1) 共同生活援助

利用者様が安全・安心で快適な日常生活を送ることができるよう、相談・助言、身体介助等を行った。

個別支援計画は、アセスメントやモニタリングを行い、利用者様が望む生活を実現するための内容の計画を作成した。

利用者様が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援事業所や生活介護事業所、就労継続支援B型事業所、行政機関等との連携に努めた。

(2) 短期入所

利用者様又はその家族の緊急時における対応として、利用者様の宿泊を伴う支援を提供するため、その身体状況や置かれている社会・家庭環境に応じて、入浴や排せつ、食事の介護等必要な支援を適切かつ効果的に行った。感染の防止については、短期入所の受入れ時に事前検査を行い、確認してから受入れを行った。

また、行政機関や他の障害福祉サービス事業所等との密接な連携に努め、利用者様に関する情報の共有を図った。

5 給食提供の状況

(1) 日々の食事が美味しいことはもちろんのこと、家庭的な雰囲気の中で、栄養バランスや季節を感じられるよう四季の郷土食等も交えて提供した。また、食前の手洗い、うがいを励行し、食中毒及び感染症の予防を徹底した。

(2) 調理者の健康管理や衛生管理として手洗い、清潔な服装等に留意し、集団食中毒及び感染症の予防対策に万全を期すとともに、調理場や食堂の衛生管理や整理整頓等の徹底に努めた。

6 入居者の健康管理の状況

入居者様の定期通院や、内服管理の支援を行ったほか、血圧測定等を定期的に行うなど、病気の早期発見、早期治療に努めた。

7 衛生管理の状況

(1) 寝具類の交換及びシーツ交換

寝具類（枕、敷・掛布団等）の交換を年1回以上、シーツ、カバー類（枕・布団等用）の交換を週1回行うなど、寝具類の清潔に努めた。

(2) 居室、浴室等の清掃

利用者様が自ら居室の清掃（荷物の整理整頓及び床や隅々の清掃）を行うよう支援するとともに、共通部分である浴室、脱衣室、廊下、食堂等の清掃を行うなど、衛生管理に努めた。

(3) 入浴

入浴日は月曜日から金曜日の週5回とし、6月～9月は土・日にシャワー浴も提供した。また、安全で快適に入浴ができるよう、利用者様のニーズに応じた支援を行った。

8 災害事故防止等訓練の状況

(1) 防災計画

きめ細かな消防・防災計画の整備と万全な備えを行うとともに、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底するなど、予防に重点を置いた取組を実施した。

(2) 避難訓練

所轄の消防署の指導を得て、日中・夜間想定も含めた総合訓練として、通報、初期消火、避難、消火器操作訓練等や、地震想定避難訓練、洪水想定避難訓練を行ったほか、災害を予防する防火思想の普及・徹底を図った。また、災害時や停電時における安全対策や機械器具装置の操作手順の周知に努めた。

9 利用者の状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(1) 共同生活援助

①市町村別の利用者数

※（内数）は重複者数

（単位：名）

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	5 (3)	4 (3)	0	9 (3)
能代市	1	0	0	1
男鹿市	1	0	0	1
計	7 (3)	4 (3)	0	11 (3)

②年齢別利用者数

※（内数）は重複者数

（単位：名）

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	0	0	0
20～29	0	0	0	0
30～39	0	0	0	0

40～49	1 (1)	1 (1)	0	2 (1)
50～59	2 (1)	1 (1)	0	3 (1)
60歳以上	4 (1)	2 (1)	0	6 (1)
計	7 (3)	4 (3)	0	11 (3)
平均年齢	58歳	69歳	0	60歳

③利用者の利用直前の生活状況 ※(内数)は重複者数 (単位:名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
施設	3 (1)	1 (1)	0	4 (1)
自宅	3 (2)	3 (2)	0	6 (2)
病院	1	0	0	1
その他	0	0	0	0
計	7	4	0	11 (3)

④退居利用者数と退居理由 (単位:名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
自宅	0	0	0	0
他施設	0	0	0	0
アパート	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	0	0	0	0

⑤障害別利用者区分 ※(内数)は重複者数 (単位:名)

区分	身体障害者						知的障害者		計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	
等級	1	4 (1)	0	0	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (1)	11 (3)

(2) 短期入所

①市町村別の利用者数 (単位:名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
秋田市	0	16	0	16
計	0	16	0	16

②年齢別利用者数 (単位:名)

区分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	計
20歳未満	0	0	0	0
20～29歳	0	11	0	11
30～39歳	0	2	0	2
40～49歳	0	1	0	1
50～59歳	0	2	0	2
60歳以上	0	0	0	0

計	0	16	0	16
平均年齢	—	30歳	—	30歳

③月別利用者数

(単位：名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延日数	14	20	14	14	20	29	26	24	19	12	14	23	229
実人数	5	7	5	6	6	8	10	8	6	4	5	8	78